



平成25年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 木曽路

コード番号 8160 URL <http://www.kisoji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松原 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 服部 昭仁

TEL 052-872-1811

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	33,220	2.7	293	3.9	353	1.7	25	
24年3月期第3四半期	32,357	0.7	305		359		105	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.00	
24年3月期第3四半期	4.07	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第3四半期	38,317		28,780		75.1	
24年3月期	38,685		29,153		75.4	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 28,780百万円 24年3月期 29,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		7.00		7.00	14.00
25年3月期		7.00			
25年3月期(予想)				7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,200	2.4	1,320	5.5	1,470	7.9	620	48.6	24.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期3Q	25,913,889 株	24年3月期	25,913,889 株
期末自己株式数	25年3月期3Q	74,016 株	24年3月期	73,484 株
期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期3Q	25,840,279 株	24年3月期3Q	25,841,069 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年10月24日に公表いたしました業績予想は、平成25年1月30日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3．継続企業の前提に関する重要事象等	4
4．四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

(第3四半期累計期間)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成25年3月期	33,220	293	353	25	1.00
平成24年3月期	32,357	305	359	105	4.07
増減率(%)	2.7	3.9	1.7	-	-

当第3四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)におけるわが国経済は、期待された財政資金の出動が遅れ、加えて、期初以降、海外経済の減速や円高等を背景に輸出が減少し、企業の設備投資及び生産活動は低下基調で推移しました。雇用・所得環境の回復も足踏み状態となり、国内景気は下降局面に入ったものと見られています。

個人消費については、省エネ型耐久消費財に一時的な支出増加があったものの、光熱費の値上りや夏季・冬季の賞与の減少等の影響により、家計消費の増勢は鈍化しました。

外食業界におきましては、人口減少・高齢化による外食市場縮小に景気下降が重なり、企業間競争はますます激化しました。主要外食企業の既存店では客数が前年を下回り、売上高は前年同期に比べ減少となりました。

このような経営環境の中で当社は、6店舗の新規出店、7店舗の改装、2店舗の業態変更、1店舗の退店を実施し、その結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は174店舗となりました。

営業面では、「食」の安全性確保に万全の注意を払いつつ、春の歓送迎会や大型連休、夏休み、年末の忘年会等、季節の行事に焦点を当て、料理・サービスの充実と販売促進活動の強化に努めました。木曾路部門においては、平成24年10月からのポイントカードの制度変更の前後で売上高の大幅な増加とその反落が生じたものの、前年同期の放射線汚染問題による売上減少の反動もあり、既存店売上高は前年同期に比べ増加となりました。

費用面では、一部食材の値上りにより原価率が上昇し、また、店舗の新設・改装に伴う広告宣伝費・修繕費・消耗品費や出店に備えたパート給料、ポイント制度変更に伴う販売促進費用、労働需給のタイト化を背景とする募集費の増加があったものの、減価償却費の減少により、販売費及び一般管理費率は横ばいとなりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は332億20百万円(前年同期比2.7%増加)となり、営業利益は2億93百万円(前年同期比3.9%減少)、経常利益は3億53百万円(前年同期比1.7%減少)、四半期純損益は25百万円の損失(同1億5百万円の損失)となりました。

(部門別の概況)

部門別売上高

	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 増減率(%)
木曾路	27,772	3.2
素材屋	2,887	9.4
鈴のれん	947	43.6
とりかく	799	2.1
じゃんじゃん亭	699	0.0
その他	113	56.3
計	33,220	2.7

木曾路部門

しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」部門は、3店舗の新規出店、7店舗の改装により、当第3四半期会計期間末店舗数は118店舗となりました。

営業面では、季節毎のイベント、歓送迎会や忘年会の宴会企画並びに恒例の「しゃぶしゃぶ祭り」「とらぶぐ祭り」を展開し、また、旬のメニューを充実し、地域限定の一品推奨を強化するなど売上の増加に努めました。その結果、既存店の客数・客単価ともに前年同期を上回り、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同期末に比べ2店舗増加していることもあり、277億72百万円(前年同期比3.2%増加)となりました。

素材屋部門

居酒屋の「素材屋」部門は、店舗の異動はなく、当第3四半期会計期間末店舗数は26店舗であります。

営業面では、旬メニューの充実、串焼き販売と一升瓶焼酎のお値打ち販売を強化し、また、平日限定イベントの実施など来店客数の回復に努めました。その結果、既存店の売上は、来店客数の回復により増加しました。しかし、当部門は店舗数が前年同期末に比べ2店舗減少しており、当第3四半期累計期間の売上高は28億87百万円(同9.4%減少)となりました。

鈴のれん部門

和食レストランの「鈴のれん」部門は、前事業年度末において「素材屋」からの業態変更のため改装中であった2店舗(関西地区)が第1四半期に開店し、また、1店舗の新規出店により、当第3四半期会計期間末店舗数は9店舗となりました。

営業面では、季節メニューの提供のほか、母の日や父の日などのイベントを展開し来店客数の獲得に努めました。この結果、当第3四半期累計期間の売上高は9億47百万円(同43.6%増加)となりました。

とりかく部門

鶏料理の「とりかく」部門は、1店舗の新規出店により、当第3四半期会計期間末店舗数は11店舗となりました。

営業面では、おすすめメニューとして旬の逸品の推奨し、また、宴会メニューの充実を図ることにより予約の獲得に努めました。しかし、一部地域において再開発の影響もあり、当第3四半期累計期間の売上高は7億99百万円(同2.1%減少)となりました。

じゃんじゃん亭部門

焼肉の「じゃんじゃん亭」部門は、1店舗の退店により、当第3四半期会計期間末店舗数は9店舗となりました。

営業面では、お値打ちな和牛メニューや限定メニューの推奨のほか、キッズクラブ会員への販売促進活動や学生予約の獲得活動の強化など来店客数の獲得に努めました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は6億99百万円(同0.0%減少)となりました。

その他部門

その他部門は、平成24年10月に新規出店したワイン食堂ウノ1店舗、外販(しぐれ煮、胡麻だれ類)、不動産賃貸等であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度末	当第3四半期 会計期間末	増 減
総資産(百万円)	38,685	38,317	368
純資産(百万円)	29,153	28,780	373
自己資本比率(%)	75.4	75.1	-
1株当たり純資産(円)	1,128.22	1,113.79	14.43

当第3四半期会計期間末の総資産は、383億17百万円で、前事業年度末に比べ3億68百万円の減少となりました。現金及び預金、固定資産が減少した一方で、売掛金、棚卸資産が増加しました。負債は、95億36百万円で、前事業年度末に比べ5百万円の増加となりました。主に買掛金が増加した一方で、法人税などの未払税金や賞与引当金が減少しました。また、純資産は、287億80百万円で、前事業年度末に比べ3億73百万円の減少となりました。これは、主として、剰余金の配当3億61百万円、四半期純損失25百万円によるものであります。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は75.1%、1株当たり純資産は1,113円79銭となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年10月24日に公表した業績予想を本日付で次の通り修正しております。なお、詳細につきましては、平成25年1月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(通期の業績予想数値の修正)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	46,000	1,800	1,880	920	35.60
今回発表予想(B)	45,200	1,320	1,470	620	24.00
増減額(B-A)	800	480	410	300	11.60

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,848	11,628
売掛金	952	1,194
商品及び製品	29	51
原材料及び貯蔵品	570	669
その他	789	646
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	14,190	14,190
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,707	8,673
土地	5,637	5,637
その他(純額)	1,942	1,699
有形固定資産合計	16,286	16,010
無形固定資産	261	262
投資その他の資産		
差入保証金	5,422	5,324
その他	2,552	2,558
貸倒引当金	28	28
投資その他の資産合計	7,946	7,854
固定資産合計	24,494	24,126
資産合計	38,685	38,317

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,221	1,826
短期借入金	950	950
未払法人税等	324	-
賞与引当金	505	204
その他の引当金	99	75
その他	2,855	2,945
流動負債合計	5,956	6,001
固定負債		
退職給付引当金	1,426	1,459
資産除去債務	1,350	1,385
その他	798	690
固定負債合計	3,574	3,535
負債合計	9,531	9,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,875	9,875
利益剰余金	9,351	8,963
自己株式	112	113
株主資本合計	29,171	28,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17	2
評価・換算差額等合計	17	2
純資産合計	29,153	28,780
負債純資産合計	38,685	38,317

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	32,357	33,220
売上原価	10,177	10,492
売上総利益	22,180	22,727
販売費及び一般管理費	21,875	22,434
営業利益	305	293
営業外収益		
受取利息	19	17
受取配当金	18	19
協賛金収入	12	24
その他	24	12
営業外収益合計	75	73
営業外費用		
支払利息	6	6
寄付金	11	1
その他	3	5
営業外費用合計	20	13
経常利益	359	353
特別利益		
固定資産売却益	-	6
特別利益合計	-	6
特別損失		
固定資産除却損	28	68
減損損失	82	93
特別損失合計	111	162
税引前四半期純利益	248	197
法人税、住民税及び事業税	92	90
法人税等調整額	261	132
法人税等合計	353	222
四半期純損失()	105	25

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。